

POWER FILE★1143

FM
94.9



伝えたい！ 地域の元気 KBS京都・久御山町 共同特別番組「くみやま夢ラジオ」

「くみやま夢タワー137」愛称決定を記念し、久御山町で公開収録。

KBS京都ラジオの電波塔が久御山町にあるのをご存知ですか。その愛称が「くみやま夢タワー137」に決定したことを記念し、KBS京都と久御山町による初の共同特別番組をオンエア。2月9日(土)にイオンモール久御山で「くみやま夢ラジオ」を公開収録しました。

KBS京都・久御山町共同特別番組「くみやま夢ラジオ」の進行役は、遠藤奈美アナ。さらにたのしいパートナーとして、やる気！元気！でおなじみの森脇健児さんと、元アーティストックスイミング(旧:シンクロナイズスイミング)選手の青木愛さんが登場しました。

農・産業・暮らし…。久御山町の多彩な魅力を伝える特番。

大勢のギャラリーが見守る中、華やかな顔ぶれで12時にスタートした公開生放送。まずは収録の舞台である久御山について教えていただき、久御山町の信貴康孝町長と久御山町商工会の西村好会長、京都やましろ農業協同組合の西村昌彦久御山町支店長を迎えました。コンパクトな町でありながら、九条ねぎや聖護院大根といった名産品を誇る久御山町。今年が町制施行65周年にあたり、KBS京都と「地域振興に関する包括連携協定」を締結して、ともに久御山町を盛り上げていくことになった経緯を紹介しました。



町のランドマークとしての活躍が期待されるKBS京都ラジオの電波塔。その愛称は、500通近い全国からの応募により決まったといいます。「くみやま夢タワー137」の137とは、137メートルの高さに由来。京都タワーより高いと聞いて、改めて森脇さんと青木さんも驚きます。

また、商工会やJA京都やましろなどで結成された「久御山町産業売り込み隊」の存在も熱烈アピール。久御山の産業をひろく発信するその活動について、売り込み隊の副隊長を務める西村会長と西村支店長が紹介しました。

続いて、久御山中学校剣道部の石畝周さんと顧問の加藤明孝先生を迎えました。剣道に情熱を注ぐ石畝さんの姿に、自身の青春時代を思い出す森脇さんと青木さん。石畝さんからアスリートの先輩である二人への質問も飛び出し、若い力を感じさせるコーナーとなりました。



また、イオンモール久御山駐車場で開催中のSUBARU「アイサ

イト」体感試乗会を青木さんがリポート。フォレスターに乗り込んで、運転支援システムを体感します。自動被害軽減ブレーキの性能を目の当たりにし、青木さんも思わずハイテンション。安心・安全なカーライフに夢がひろがるリポートとなりました。さらに京都スバル自動車久世橋店の片岡遼さんに、ステージでSUBARU独自の機能について解説していただきました。

続いて、京都府交通安全協会の久保博人さんが出演。久保さんは、高齢ドライバーによる不注意や誤作動をカバーするセーフティ・サポートカーに大きな期待を寄せる反面、ドライバー自身の心がけも大切と話しました。安全運転と協会活動への理解をステージから呼びかけて、公開収録はエンディングを迎えました。



楽しいおしゃべりにのせて、久御山町の魅力と交通安全の話題をお届けした1時間。3人の楽しいおしゃべりや、ゲストとのトークも弾み、聴きごたえある特別番組となりました。

この模様は、2月17日(日)12時から13時にオンエアしました。

公開収録後も、町の元気を感じさせるステージイベントを展開。

当日のステージでは12時から13時の公開収録を皮切りに、14時15分頃までイベントを展開。13時からのおみやま魅力発信ステージでは、久御山中学校吹奏楽部の演奏や久御山町農産物直売所「旬菜の里」PRステージ、くみやまジュニアコーラスの合唱など、地域の元気、活力が伝わるステージが繰り広げられました。さらに13時45分からの交通安全ステージでは、宇治警察署交通課の方々が、腹話術などのパフォーマンスを通じて交通安全の重要性をアピール。楽しくもためになるステージをお届けしました。



また、番組内でもリポートしたSUBARU「アイサイト」体感試乗会は、駐車場で17時まで開催。ひときわ目を引く登坂走行施設は、なんと傾斜30度でスリル満点です。また自動被害軽減ブレーキの体感コーナーも注目度満点。多くの方々が、自動車メーカーの最新技術とその安全性を体験しました。

KBS京都ラジオはこれからも、久御山町をはじめさまざまな地域の元気を伝える放送やイベントをお届けしていきます。